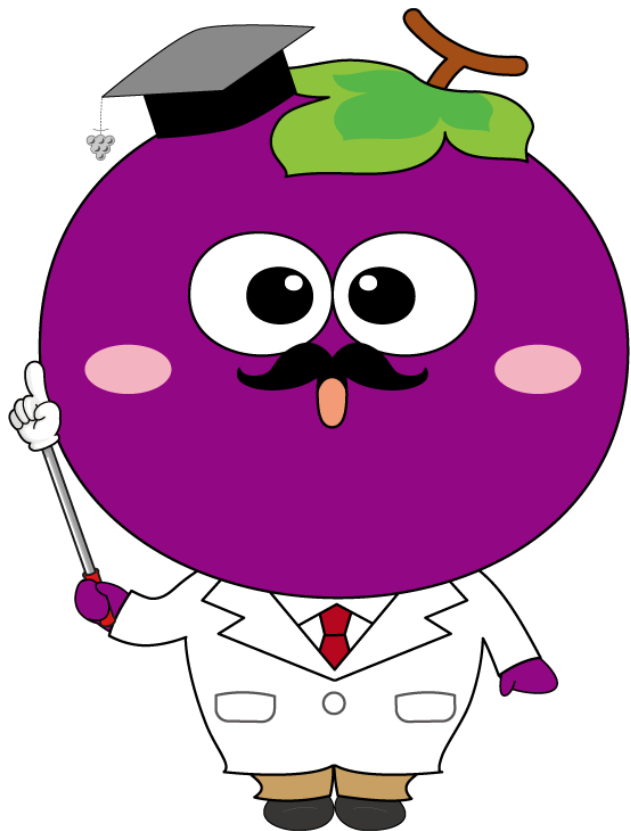




羽曳野市の財政状況 〈令和5年度決算〉

【第1版】

羽曳野市総務部財政課

羽曳野市の財政の状況を、つぶたんと一緒に見ていきましょう！



～ 目 次 ～



Q1. そもそも財政ってナニ？	1
Q2. 羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？	2
Q3. 一般会計の決算の概要を教えて！	4
Q4. 令和5年度の歳入の特徴を教えて！	6
Q5. 令和5年度の歳出の特徴を教えて！	9
Q6. 令和5年度に行った主なお仕事を教えて！	14
Q7. 羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？	15
Q8. 羽曳野市にはどれくらい借金があるの？	16
Q9. 羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？	17



よろしくね！

羽曳野市の財政状況をできるだけ
わかりやすく説明するね。





Q 1. そもそも「財政」ってナニ？



市役所では、市民の皆さんから税金をいただき、子育て、福祉、教育など、市民の皆さんの生活にかかわる色々な仕事をしています。
市役所では、そういった仕事を効率的に行うために、様々な「お金のやりくり」をしています。
つぶたんもお小遣いをもらったら、それをどうやって使うかを考えるよね。
市役所では、その「お金のやりくり」のことを「財政」と呼んでいます。

《もう少し詳しく》

予算とは？

市役所では、市民にかかわる色々な仕事をしています。しかし、市役所に入ってくる収入には限りがありますので、その収入の見込みの範囲内で、やらなければならないことの優先順位をつけ、仕事をしています。

この収入と支出の計画のことを「**予算**」と呼んでいます。市役所では、毎年度「予算」を作成し、これに基づいて様々な仕事をしています。

また、異なる仕事ごとにお財布（＝会計）を分けて、その仕事ごとの予算を作成する場合があります。

決算とは？

市役所では、市民の皆さんから税金などを集め、様々な市民サービス等を行っています。そして、それらの収入がいくら集まり、市民サービス等にいくら使われたのかを、毎年度取りまとめしています。

この収入と支出の取りまとめ結果のことを「**決算**」と呼んでいます。決算では、市役所がその年度にお金をどう使ったか確認できます。また、決算の数値を用いて市役所の財政状況がどうなっているかをチェックすることができます。

「決算」は、言わばその年度の市役所の成績表です。

Q 2. 羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？



市役所のお財布には、大きく分けて「一般会計」、「特別会計」、「公営企業会計」の3つの種類があります。

《もう少し詳しく》

一般会計

R5年度にかかったお金
約458.8億円

市の基本的なお仕事
(福祉、教育、ごみ処理、保健、道路など)
をするためのお財布。
皆さんからいただく
税金などが主な財源。

特別会計

R5年度にかかったお金
約266.5億円

国民健康保険など、特
定の目的の為のお財布。
保険料等の収入により
医療費等の支出をまか
なう。一般会計と分け
ることで経理を明確に
している。

公営企業会計

R5年度にかかったお金
約49.2億円

水道、下水道など民間
企業に似たお仕事を
行うためのお財布。料
金等の収益により費用
をまかなう。一般会計
と分けることで経理を
明確にしている。

令和5年度では
市役所全体で

約774.5億円

のお金がかかりました。



次のページで、それぞ
れのお財布の収支を見
てみましょう。

羽曳野市のお財布ごとの収支（令和5年度決算）

収支（収入－支出）がマイナスになることを「赤字」と言うよ。

種 類	お 財 布 の 名 前 (会 計 名)	収 入 (収 益)	一 般 会 計 金		支 出 (費 用)	収 支	説 明
			繰 入	金			
一 般	一般会計	460.5億円	—	—	458.8億円	1.8億円	市役所の基本的なお仕事をするためのお財布
特 別	国民健康保険特別会計	126.6億円	13.1億円	—	126.3億円	0.3億円	自営業者の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	介護保険特別会計	116.9億円	18.6億円	—	116.6億円	0.3億円	高齢者の方が介護が必要になったときに受けるサービス等の費用を負担するためのお財布
	後期高齢者医療特別会計	21.7億円	4.4億円	—	21.0億円	0.7億円	75歳以上の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	財産区特別会計	14.5億円	0.0億円	—	0.3億円	14.3億円	昔から地域の皆さんで使っていた、ため池や山林などを維持管理するためのお財布
	土地取得特別会計	2.3億円	2.3億円	—	2.3億円	—	道路などの工事をするために必要な土地を購入するためのお財布
公営企業	と畜場特別会計	1.3億円	0.8億円	—	1.3億円	—	皆さんが食べる牛肉等を加工するための施設の維持管理を行うためのお財布
	水道事業会計	21.9億円	1.0億円	—	19.0億円	2.9億円	皆さんが使う水を供給する水道施設の維持管理を行うためのお財布
	下水道事業会計	31.6億円	8.2億円	—	28.9億円	2.7億円	皆さんが使用した水を処理場に送り、適切に処理するためのお財布

※四捨五入の関係で「収入－支出」と「収支」が一致しない場合があります。

一般会計繰入金是一般会計が負担すべきお金のほか、他の会計が赤字になりそうなときに一般会計から仕送るお金のことだよ。

どのお財布も収支に赤字が無くて安心。でも、一般会計繰入金がなかったら赤字になるお財布もあるみたい。もし一般会計が赤字になったら、大変だね。





Q 3. 一般会計の決算の概要を教えて！

令和5年度一般会計決算の概要

- ・歳入（収入）：460億5,415万円（前年度比 9億719万円）
- ・歳出（支出）：458億7,751万円（前年度比 8億5,376万円）

⇒形式収支（歳入－歳出）：1億7,664万円

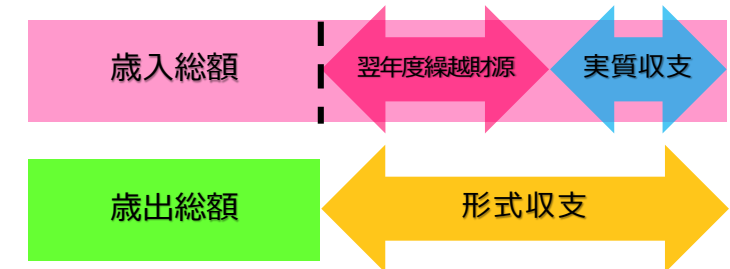
このうち翌年度に繰り越す仕事（令和5年度に終わらなかった仕事）に使うためのお金「7,072万円」を差し引いた金額が、

⇒実質収支（形式収支－翌年度繰越財源）：1億592万円

ただし、財源不足を補うため、財政調整基金（市役所の貯金）から取り崩しを行った。（令和5年度取り崩し額：3.0億円）

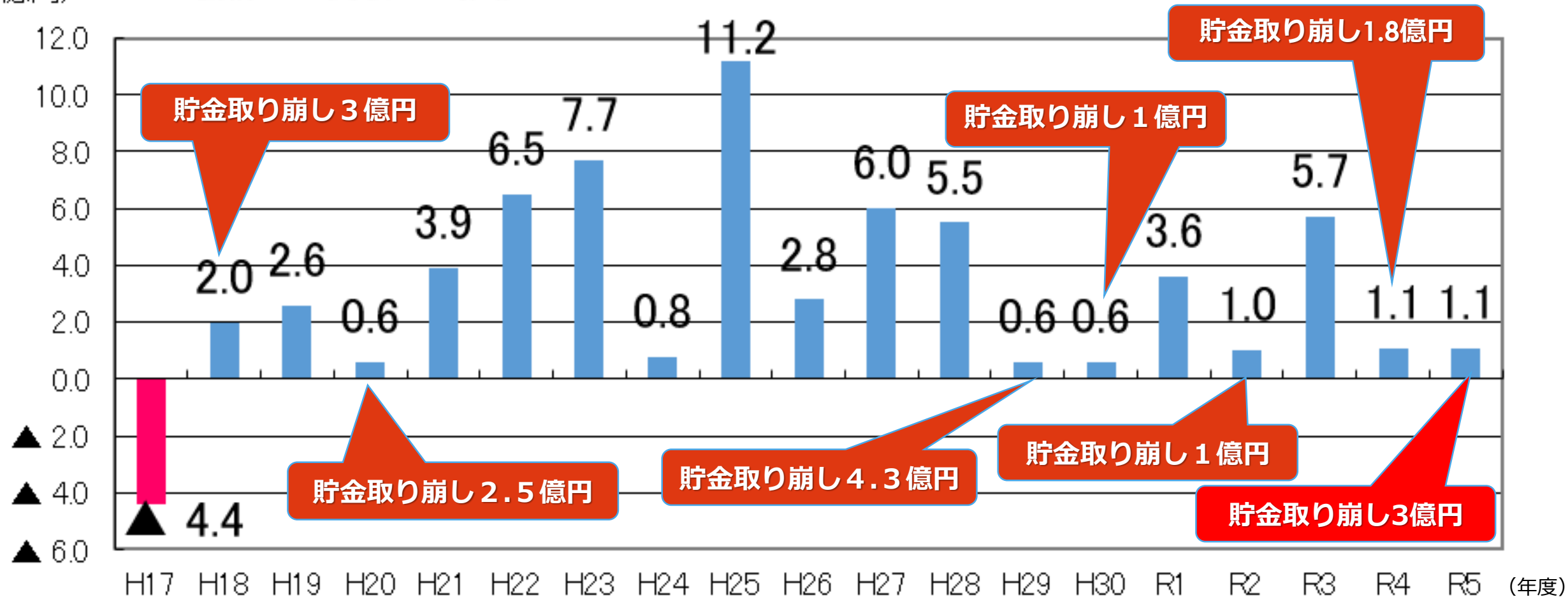
➡ 貯金を取り崩しての黒字となった。

★実質収支のイメージ図(収支が黒字の場合)



次のページでは、これまでの一般会計の収支の推移を見てみよう。

(億円) 一般会計の実質収支の推移



一般会計の収支は年によってすごくデコボコがあるね。黒字のときはしっかり貯金をしないとね。

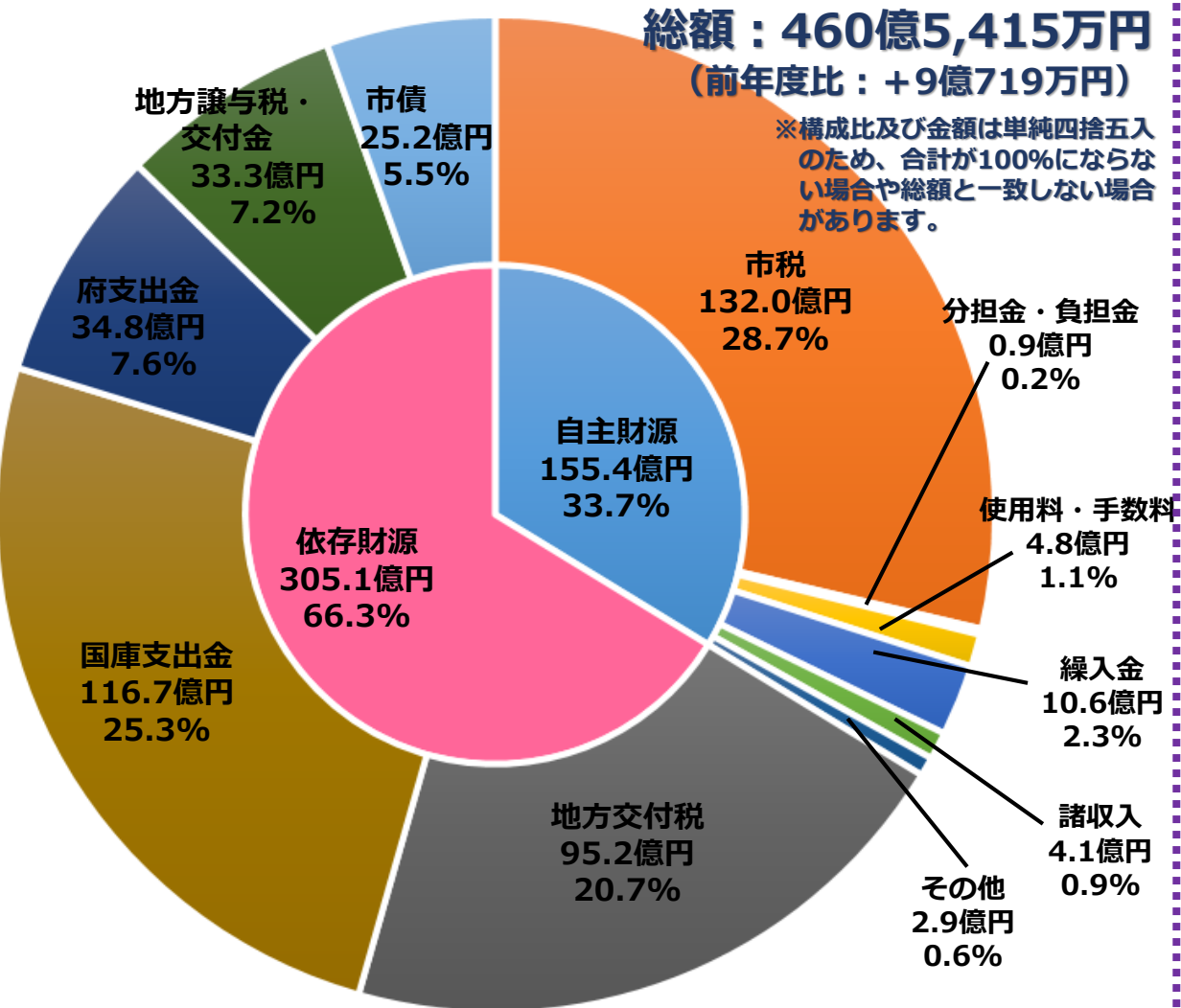


羽曳野市の収支にデコボコがあるのは、市の総収入の中で、国や大阪府からもらえるお金の割合が高く、年によってもらえるお金が多かったり少なかったりして収入が安定しないことが理由のひとつとして考えられます。令和5年度がどうだったかは、次のページで見てみましょう。



Q 4. 令和5年度の歳入の特徴を教えて！

一般会計歳入内訳（令和5年度決算）



令和5年度歳入決算の特徴

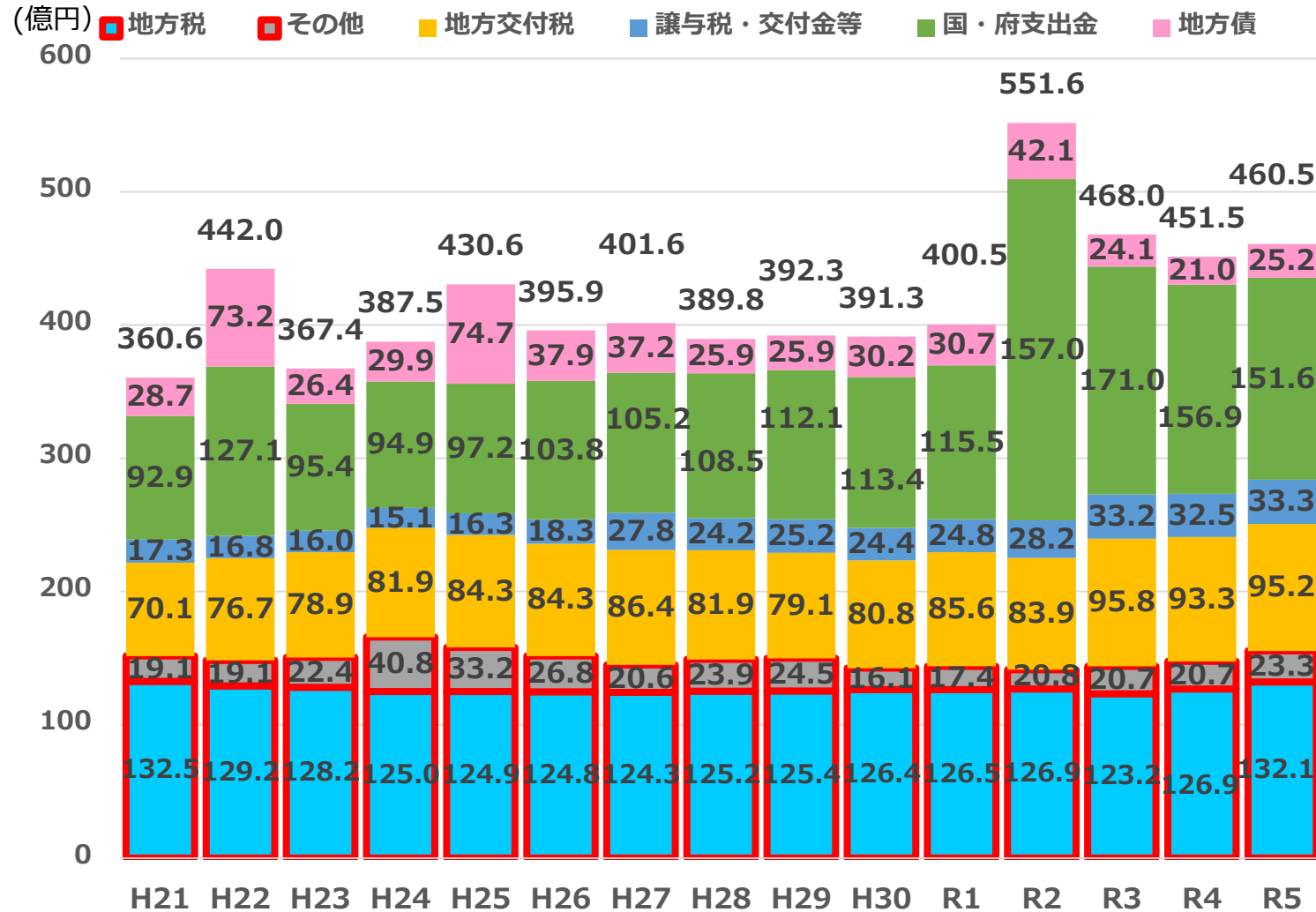
- ・ 令和5年度の歳入総額は、460億5,415万円となり、前年度と比較すると、9億719万円の増加となった。
- ・ これは、国庫支出金が4.2%、繰越金が78.4%減少しているものの、財政調整基金や減債基金等からの繰入金が273.7%、市税全ての税目において景気回復などにより4.1%増加したことが要因となっている。
- ・ 依存財源である国庫支出金等が減少したことや、自主財源である市税等が増加したことを受けて、一般会計の自主財源割合は33.7%となり、前年度に比べ1.0%上昇した。



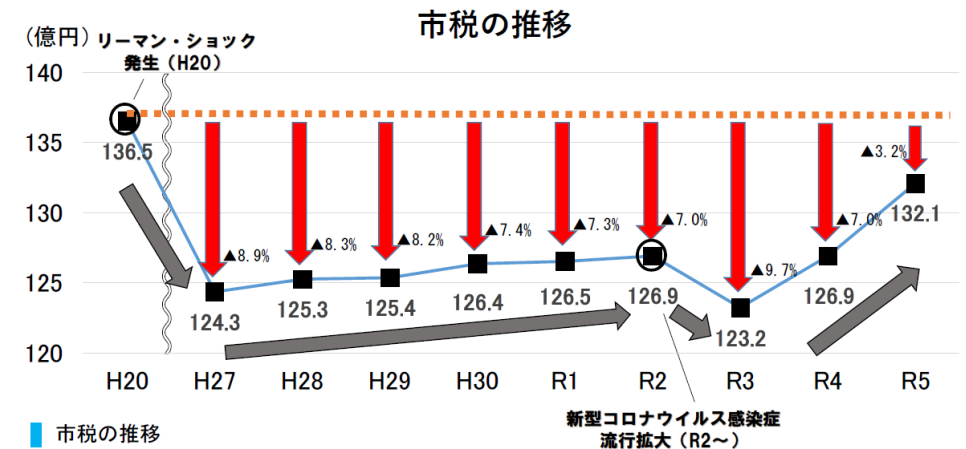
「自主財源」は市役所が自主的に集められるお金。
「依存財源」は国や大阪府からもらうお金などで、自主的には集められないもの。
「自主財源」が多いほど、自主的で安定的な仕事ができる。だから、「自主財源」をもっと増やせるようにしないとね。

一般会計の歳入の推移

□ は、自主財源



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。



平成20年度と比べて令和5年度の市税収入は約4.4億円減少したのに対し、地方交付税は約24億円増加しており、市財政の国への依存度は高まっています。

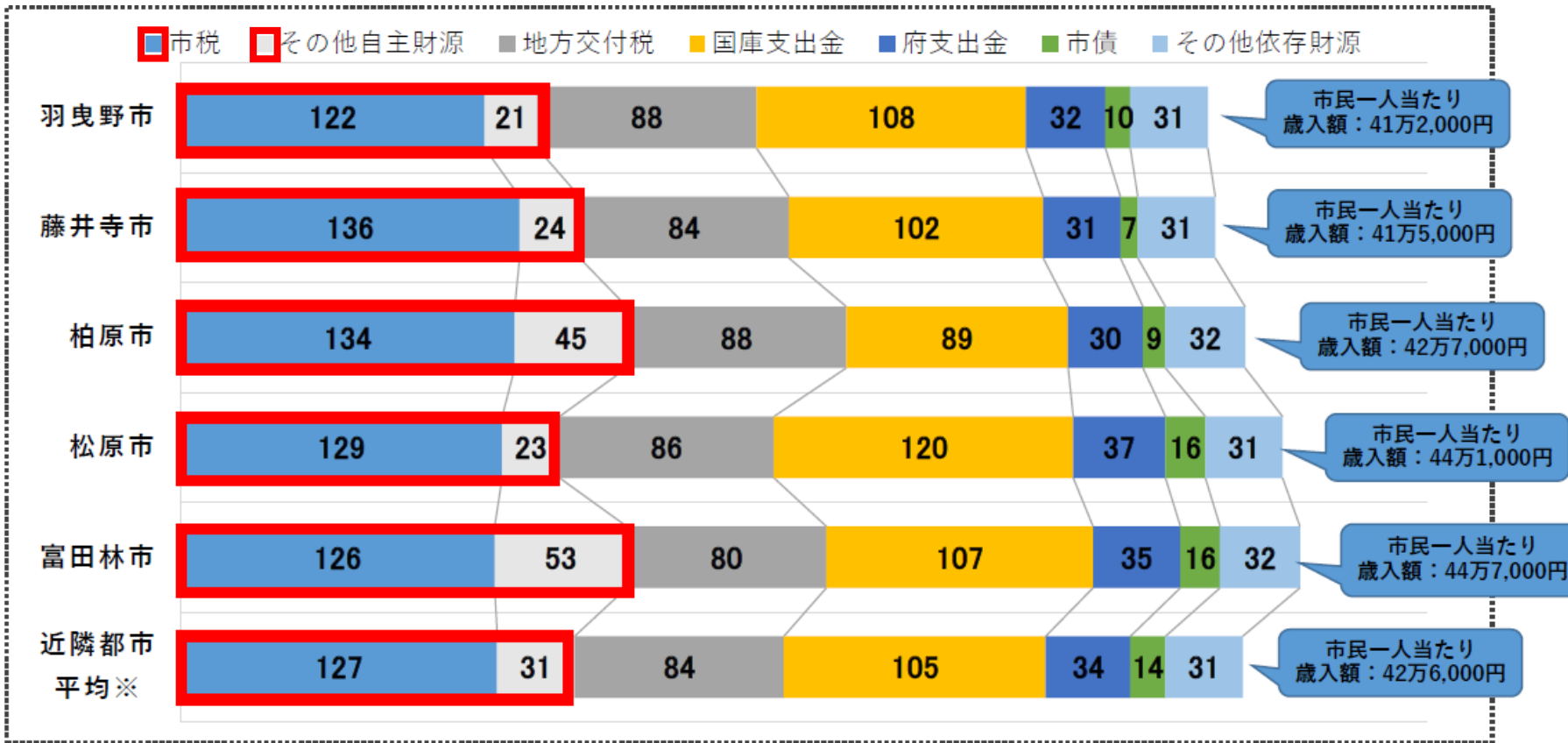
市税収入はリーマン・ショック後の減少傾向から、平成28年度以降は増加傾向が続いており、令和3年度は一旦減収に転じましたが、令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の終息に伴う景気回復等により再び増加となっています。



市民一人当たりの歳入 隣接市・近隣都市平均との比較について

市民一人当たり歳入比較表（令和5年度決算・普通会計*／政令市除く）

単位：千円
 は、自主財源



普通会計とは？

「普通会計」とは、市町村ごとに会計の範囲や状況が異なることから、他の市町村との財政比較を行いやすくするため、一般会計とそれに近い性質の特別会計とを足し合わせるほか、各会計で重複するお金や、借金の借換に関する収入等を差し引いて算出します。羽曳野市では、「一般会計」と「土地取得特別会計」を合わせたものを「普通会計」としています。

羽曳野市は市民一人当たりの歳入額が少なく、周りの市よりも市民一人当たりの自主財源の額が低いから歳入を増やさないといけないね。近年では手数料と使用料の見直しをして歳入を増やしたよ。

市民一人当たりの自主財源の額

近隣都市平均：15.8万円
 羽曳野市：14.3万円
 （近隣都市7市中7位）



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。

※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。

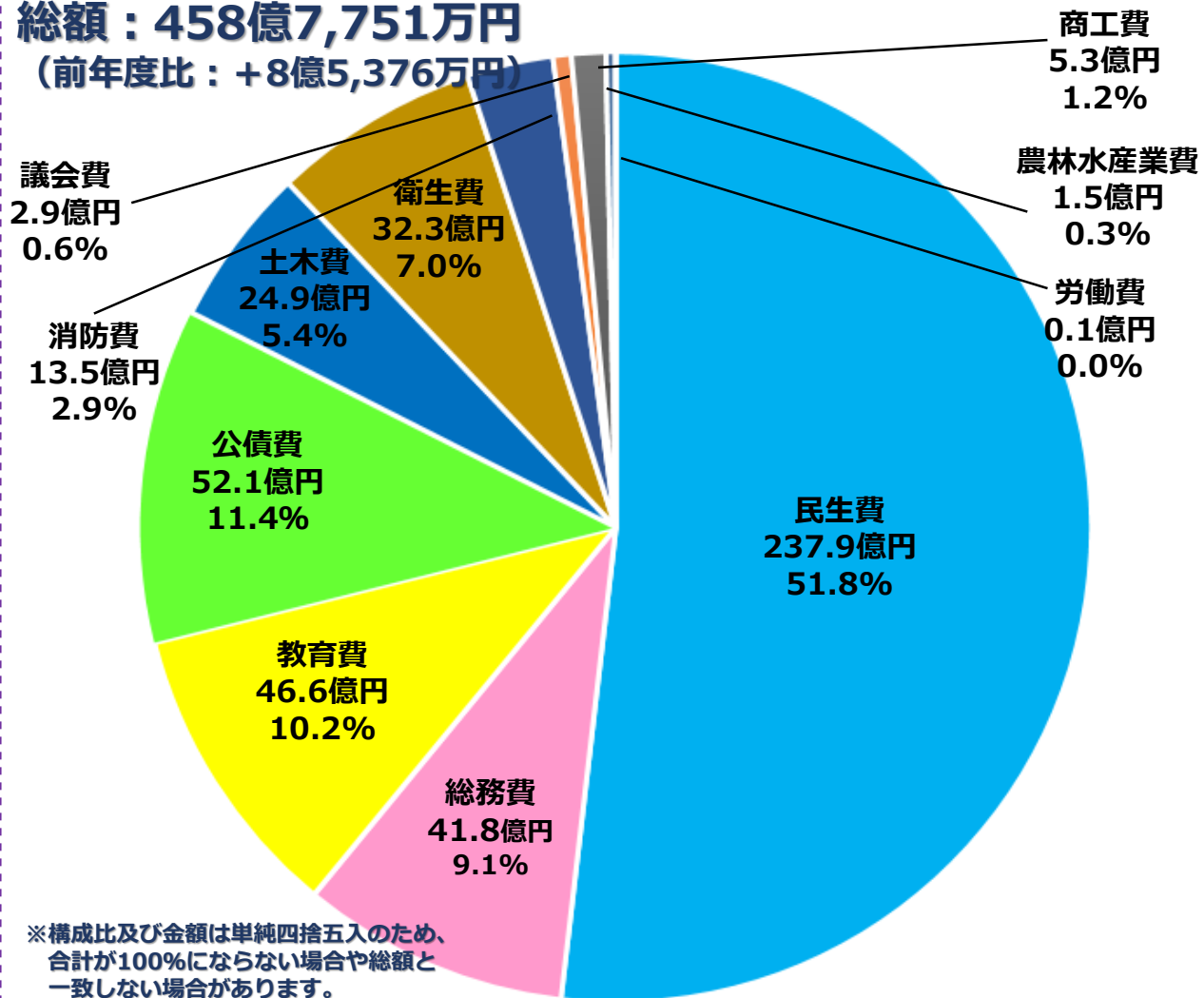


Q 5. 令和5年度の歳出の特徴を教えて！



一般会計歳出（目的別）内訳（令和5年度決算）

総額：458億7,751万円
（前年度比：+8億5,376万円）



歳出決算には、歳出を行政目的別に区分した「目的別」と、性質別に区分した「性質別」の2つの見方があります。

家族の買い物で例えると、次のようになります。

（例）子どものために洋服を買う

⇒ ① 目的別：子どものために（民生費に計上）

② 性質別：洋服を買う（物件費（11ページ参照）に計上）

令和5年度歳出決算（目的別）の特徴

- ・ 令和5年度の歳出総額は、458億7,751万円となり、前年度と比較すると、8億5,376万円増加した。
- ・ 増加要因としては、公債費が借換債の元金償還などにより50.9%増加したこと、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業の実施などにより民生費が5.8%増加したことなどがある。
- ・ 一方、減少要因としては、市営向野住宅建替工事の完了などにより土木費が34.8%減少したことなどがある。

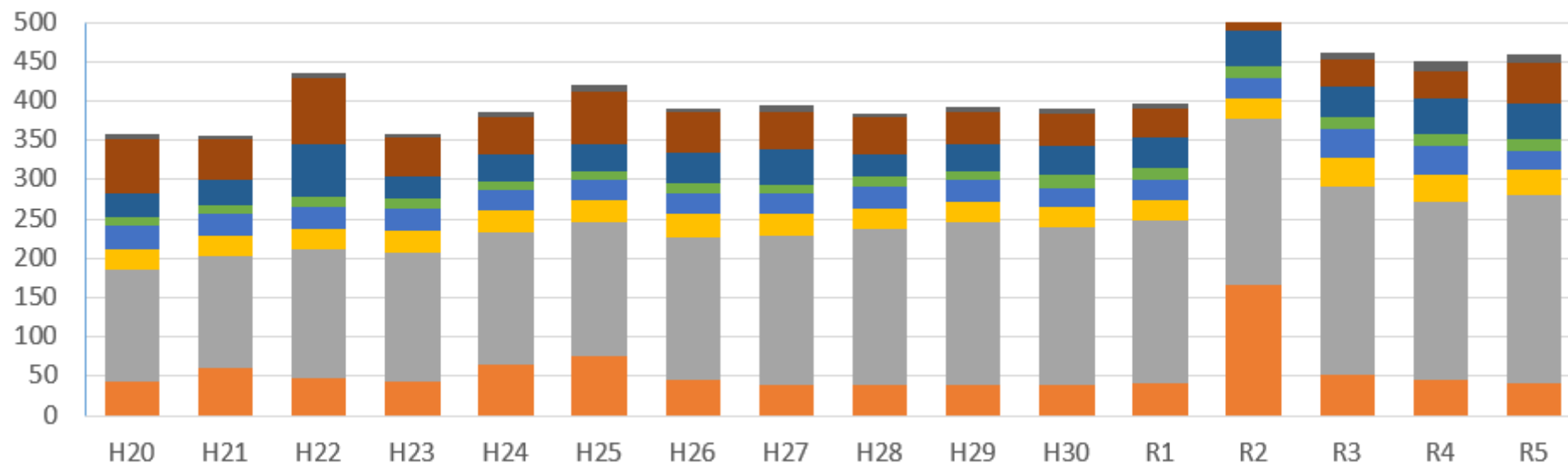
目的別費目の概要（主なもの）は、次のとおりです。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ・ 民生費：福祉や子育てなど | ・ 公債費：市役所の借金返済金 |
| ・ 総務費：まちづくりや戸籍など | ・ 教育費：学校やスポーツなど |
| ・ 衛生費：健康やごみ処理など | ・ 土木費：道路や公園など |
| ・ 消防費：消防や防災など | ・ 商工費：観光や商業など |



一般会計の歳出（目的別）の推移

総務費 民生費 衛生費 土木費 消防費 教育費 公債費 その他



(単位：億円)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総務費	43.4	61.6	47.8	42.6	64.4	75.2	45.7	38.9	40.2	39.6	38.5	42.3	165.3	51.7	46.3	41.8
民生費	143.2	140.9	163.8	165.5	168.8	171.8	181.6	189.0	196.5	206.4	200.9	206.6	211.1	238.9	224.8	237.9
衛生費	25.7	26.1	26.3	27.1	27.6	28.0	28.4	29.6	27.1	26.5	25.9	24.8	25.9	36.4	34.4	32.3
土木費	29.4	27.4	27.6	28.4	25.6	24.8	27.5	24.3	27.2	26.3	24.7	25.3	27.4	37.8	38.3	25.0
消防費	11.4	12.0	11.8	11.6	11.3	11.7	11.7	12.2	12.1	12.8	15.4	15.1	13.7	14.6	13.1	13.5
教育費	29.1	32.7	66.9	29.4	34.6	33.7	38.8	44.8	28.9	32.4	38.1	38.7	44.9	39.9	45.6	46.6
公債費	69.6	50.0	85.7	48.1	48.0	67.6	51.4	48.0	46.6	41.7	40.4	36.6	52.3	32.8	34.5	52.1
その他	6.3	5.3	4.9	6.1	5.6	6.7	6.2	8.3	5.8	6.1	6.8	7.6	10.0	10.2	13.3	9.7
歳出合計	358.1	356.1	434.8	358.9	385.9	419.4	391.2	395.1	384.3	391.7	390.7	396.9	550.6	462.3	450.2	458.8

※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。

最近では、福祉や子育てなどにかかる費用が増加し、市役所の借金返済に充てるお金が減少したんだね。



平成20年度と比べて令和5年度の民生費は高齢化の進行や子育て施策の充実などを受けて約94.7億円の増となっています。一方、公債費は約17.5億円の減となっています。なお、R5公債費のうち約20億円は過去の借金の借換に伴うもので、それを差し引くと公債費は約32.1億円になります。



総額：458億7,751万円

（前年度比：+8億5,376万円）

積立金

4.6億円

繰出金

1.0%

53.7億円

11.7%

人件費

65.3億円

14.2%

義務的経費

278.0億円

60.6%

扶助費

160.6億円

35.0%

その他の経費

165.9億円

36.2%

投資的経費

14.8億円

3.2%

公債費

52.1億円

11.4%

普通建設事業費

14.8億円

3.2%

物件費

52.9億円

11.5%

維持補修費

1.9億円

0.4%

補助費等

52.8億円

11.5%

※構成比及び金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

性質別費目の概要は、次のとおりだよ。

- ・人件費：職員の給料、退職手当などに係る経費
- ・扶助費：児童、高齢者、障害者に対する支援に係る経費
- ・公債費：市役所の借金の返済に係る経費
- ・普通建設事業費：道路、学校などの施設の建設に係る経費
- ・災害復旧事業費：災害で被害を受けた施設の復旧に係る経費
- ・物件費：施設管理等の委託料や消耗品、備品等に係る経費
- ・維持補修費：施設の維持補修に係る経費
- ・補助費等：一部事務組合や公営企業等に対する補助に係る経費
- ・繰出金：国保、介護などの特別会計への仕送りに係る経費
- ・積立金：基金（市役所の貯金）への積み立てに係る経費

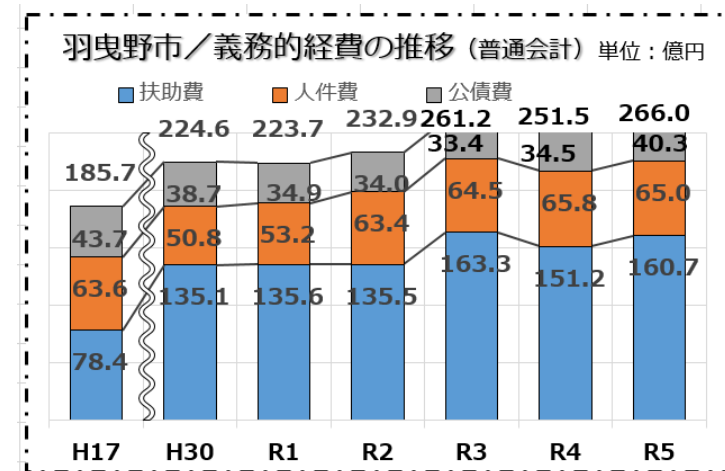
性質別経費は、大きく分けて「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けられます。

このうち、制度的に支出が義務付けられている「義務的経費」の割合が高いほど、財政の柔軟性を欠き、財政健全化が図られにくいとされています。

市民一人当たりの歳出（性質別） 隣接市・近隣都市平均との比較について

市民一人当たり歳出比較表（令和5年度決算・普通会計／政令市除く）

単位：千円 は、
義務的経費



歳出総額に占める義務的経費の割合
（普通会計）

近隣都市平均：56.9%
羽曳野市：59.8%
（近隣都市7市中6位）
（この割合が高いほど財政健全化がしにくい）

※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。

※近隣都市平均は隣接市に河内長野市と大阪狭山市を加えた7市の加重平均です。





羽曳野市の家計簿はどのようなになっているのかな。どのような特徴があるか一緒に見てみよう。

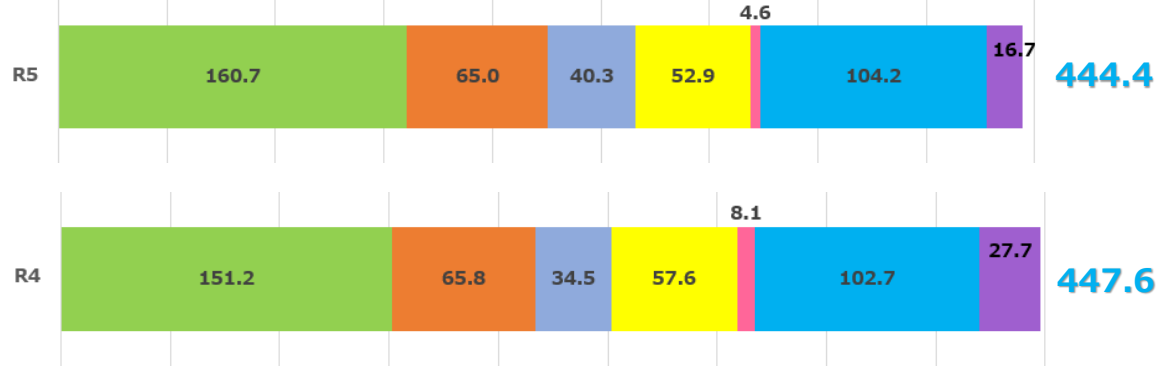
<収入> (普通会計)

(単位：億円)



<支出> (普通会計)

(単位：億円)



家計簿の項目	歳入科目	説明
給与（基本給）	地方税	市民から納められる税金
給与（手当・ボーナス）	地方交付税、譲与税など	税金の不足を補うために国から配分されるお金など
パート収入	使用料・手数料、寄附金など	施設の使用料や行政サービスの利用料、ふるさと寄附金など
親からの援助	国庫支出金、府支出金	国や大阪府から支払われるお金
貯金引出	繰入金	積み立ててきたお金の取り崩し
繰越金	繰越金	前年度からの繰越金
ローン借入	地方債（臨財債(16頁参照)含む）	施設の建設費用などのための借入金

家計簿の項目	歳出科目	説明
医療費・保育料等	扶助費	子どもや障がい者や生活困窮者を支えるためのお金
食費	人件費	職員の人件費
ローン返済	公債費	過去の借入金の返済費用
光熱水費・日用品	物件費	施設の光熱水費、業務委託料、物品の購入費
貯金	積立金	将来に備えて積み立てておくお金
仕送りなど	繰出金・補助費等	国民健康保険や介護保険、下水道などのために負担するお金
家の増改築費	投資的経費	道路などのインフラや学校・体育館などを建設するお金



○収入では、給与は増えているけど、親からの援助が減っているね。これは、景気回復等による市税収入が増加している一方で、国の新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金などの国庫支出金が減ったことが大きな要因だよ。この他、貯金の取崩しが増えて、繰越金やローン借入等が減っていることが見て取れるね。

○医療費・保育料等が増えているね。これは、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業による扶助費等が増えたことが大きな要因だよ。また、ローン返済に毎年 30 億円以上かかっていることに加え、家の増改築は毎年 14 億円以上かかっているね。これからの施設の老朽化に対応するためには貯金を増やしたいところだけど、医療費・保育料等は増えていくだろうから厳しいね。

Q 6. 令和5年度に行った主なお仕事を教えて！



令和5年度に行った代表的な仕事を紹介します。

●新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策事業【21億5,906万円】

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業、物価高騰対応重点支援給付金事業、介護保険施設・医療機関等物価高騰対策一時支援金事業、水道料金支援事業など



●学校体育館空調設備設置事業【2億5,422万円】

児童・生徒の体調管理や熱中症対策、また避難所の環境改善を図るため、市立小学校・義務教育学校の体育館への空調設備設置工事を実施



●子育てにかかる経済的負担の軽減【1億746万円】

認可保育施設にかかる0～2歳児の保育料について、国が定める多子軽減の所得制限等を撤廃し、第2子を半額化、第3子以降の無償化を実施。3人以上の子がいる多子世帯の学校給食費について、市立小学校・義務教育学校前期課程においては全額相当助成、市立中学校・義務教育学校後期課程においては半額助成を実施



●スケボーパークはびきの整備事業【3,791万円】

NEXCO西日本の協力のもと、南阪奈道路高架下にスケートボードを気軽に楽しむことができるスケボーパークはびきのを整備

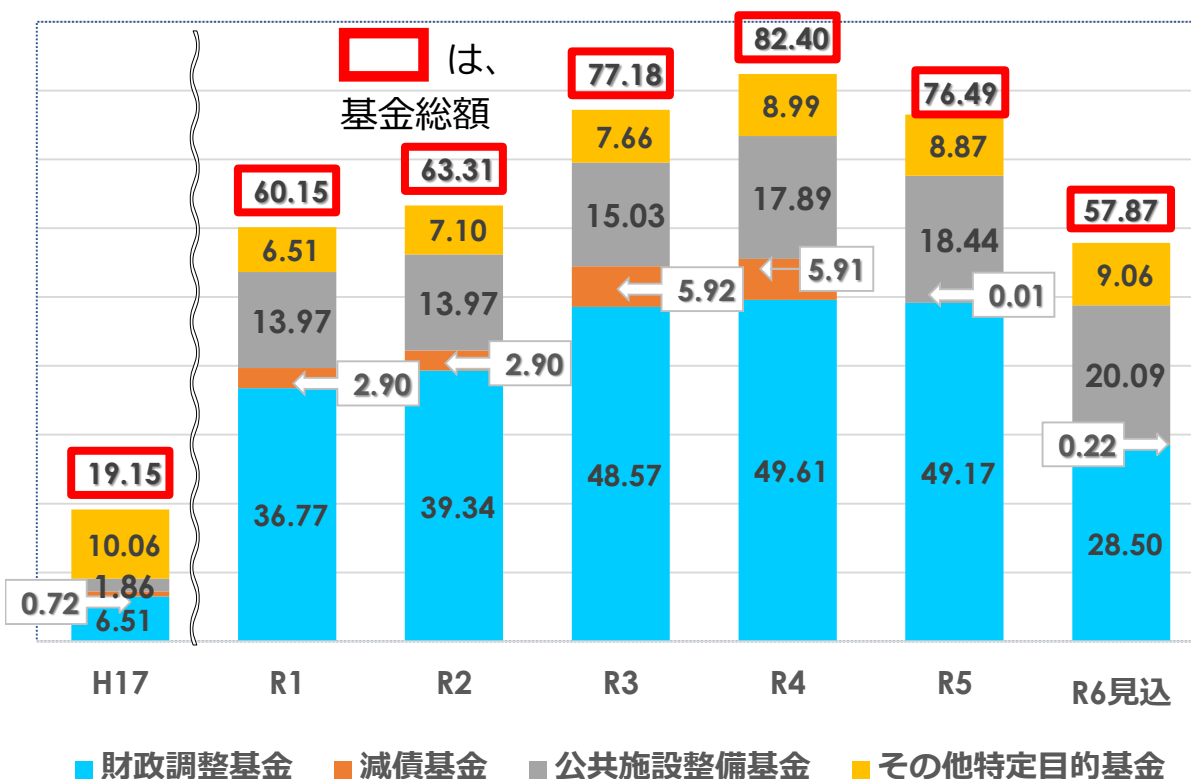


Q 7. 羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？



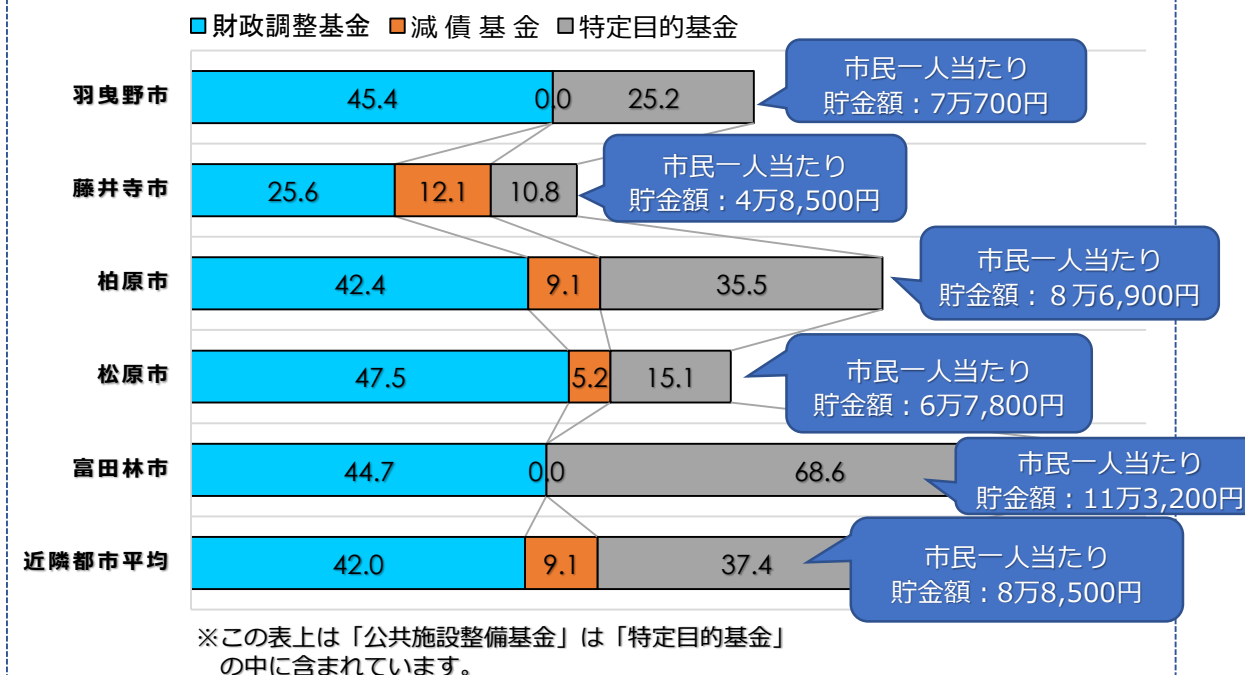
基金（貯金）残高の推移

単位：億円



(参考) 市民一人当たりの基金残高 隣接市・近隣都市平均との比較表
(令和5年度決算／政令市除く)

単位：千円



- 財政調整基金：年度間の収支のデコボコを調整するための貯金
- 減債基金：市債の返済に備えて積み立てる貯金
- 公共施設整備基金：公共施設の整備や改修に充てるための貯金
- その他特定目的基金：福祉、教育、まちづくりなど、特定の目的のために積み立てられる貯金



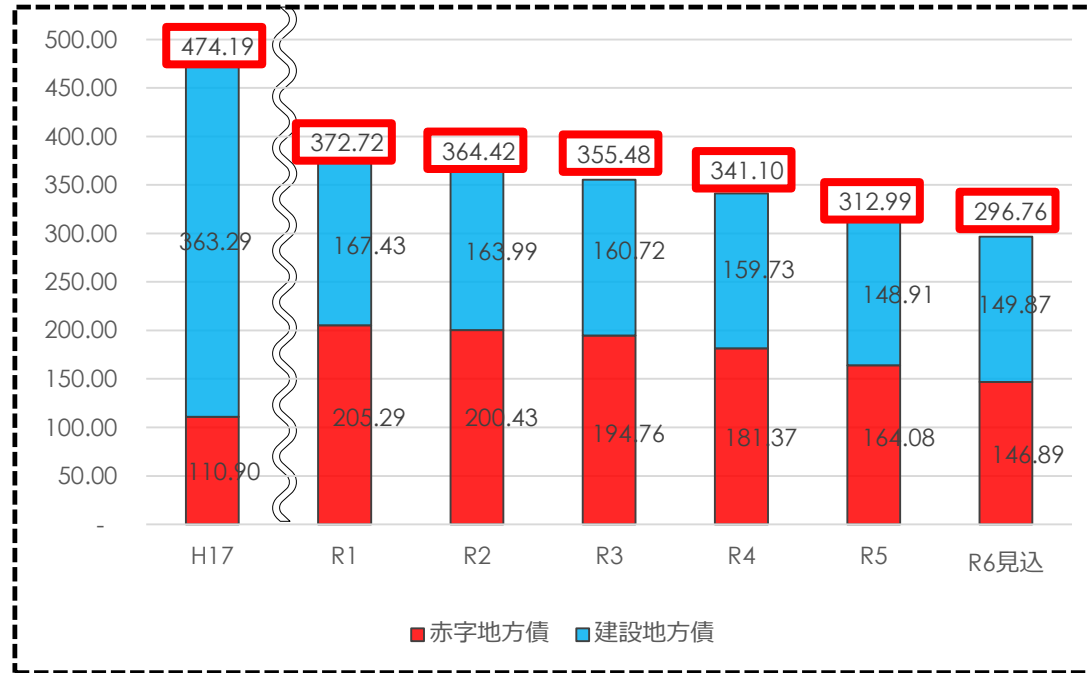
基金(貯金)残高は、財政健全化計画の着実な実行等により増加させることができてきたよ。特に財政調整基金は「毎年収入が見込まれる税金や交付税などのお金の平均的な金額」(標準財政規模)の20%程度を目標に積み立ててきたところで、羽曳野市の標準財政規模は約247億円でその20%は約49億円となり、R4年度は49.61億円なので、ようやく目標を達成したよ。R5年度は減債基金の取り崩しの増加などにより一旦残高は減る見込みだけど、今後は本庁舎や給食センターの更新対応などが控えていて、そのために大きく取り崩さなければならないことも考えられるから、この取り組みは続けていきたいね。

Q 8. 羽曳野市にはどれくらい借金があるの？



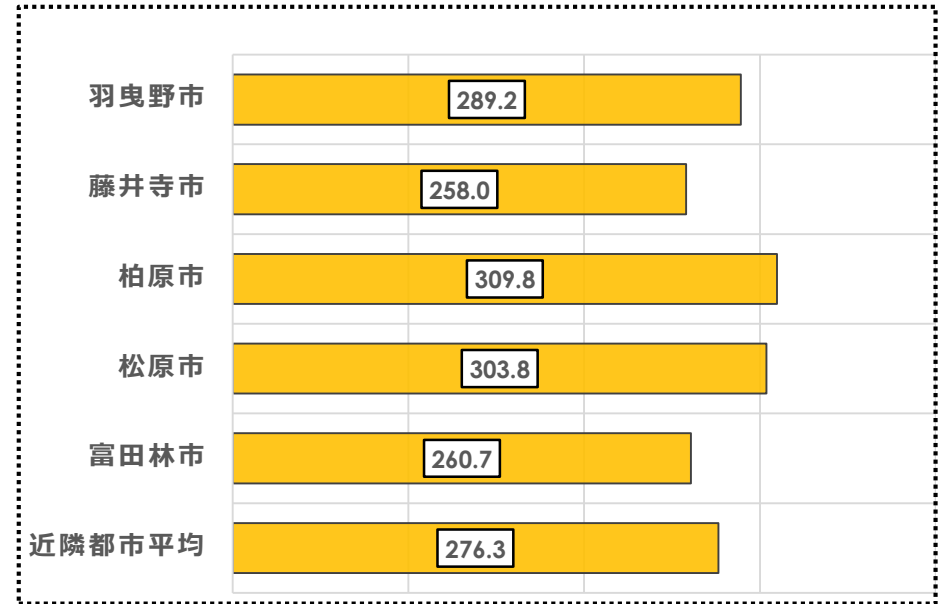
市債（借金）【普通会計】残高の推移

単位：億円



(参考) 市民一人当たりの市債残高 隣接市・近隣都市平均との比較表
(令和5年度決算／政令市除く)

単位：千円



は、
借入金総額



- 赤字地方債：臨時財政対策債*、退職手当債等をいう。
 - 建設地方債：道路や公共施設を建設するために借りる借金。市債を借り、その施設の耐用年数の期間に渡って借金返済をすることで、その施設を使用する人たちの世代間の公平性を確保する。
- ※臨時財政対策債：国が地方に支払うべき地方交付税の財源が不足しているため、地方自治体に交付税の代わりに発行させる赤字地方債。後年度その元利償還金の全額に相当する額が地方交付税としてもらえる。



市債（借金）残高は、その年の新規借入額を原則その年の元金償還額以下とするような運用をしているため、特に建設地方債は着実に減少しているね。だけど、他市に比べるとまだまだ高い水準だね。国の財源不足による臨財債の残高も高い水準にあり、1,200兆円を超える国の借金残高のことを考えると、市の自主財源を多くして、少しでも臨財債の借入額を減らす努力が必要だね。

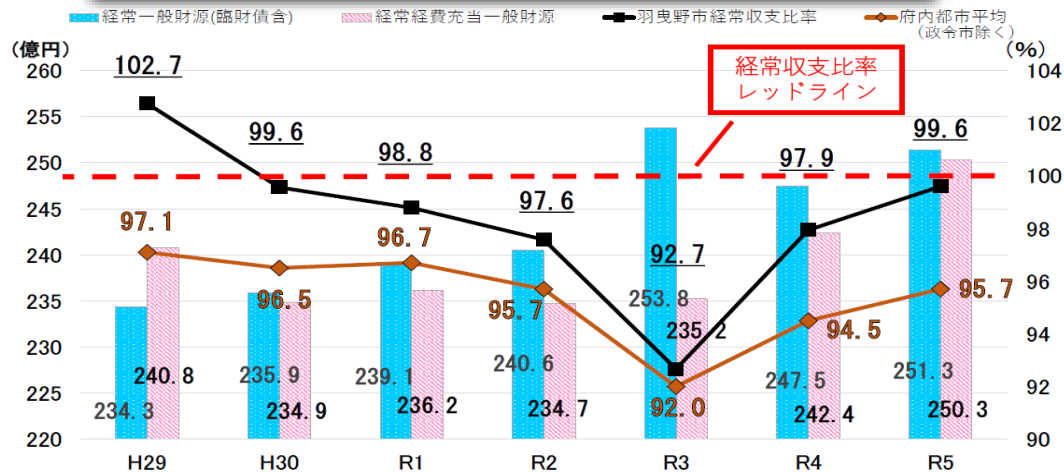


Q 9. 羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？



市役所の財政状況は「経常収支比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」などの財政指標で診断することができます。

経常収支比率の推移



令和5年度の経常収支比率は、99.6%（前年度比+1.7%）となりました。

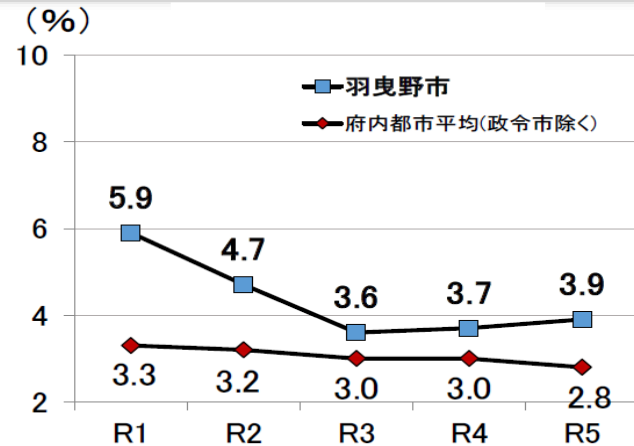
これは歳入において市税等が増加したものの、扶助費、繰出金、物件費、補助費等といった歳出がそれ以上に増加したことによるもので、更なる経費削減に努める必要があります。

経常収支比率とは（※低い方が良い）

地方公共団体の財政の弾力性（自由度）を判断するための指標です。

市税や地方交付税など毎年経常的に入ってくる使い道が決まっていない自由に使えるお金が、人件費、扶助費、公債費など毎年経常にかかる経費にどれだけ充てられるかを示します。この比率が100%を超えると、経常的な収入では経常的な支出をまかなえていないことを表します。

実質公債費比率の推移



令和5年度の実質公債費比率は、3.9%（前年度比+0.2%）となりました。

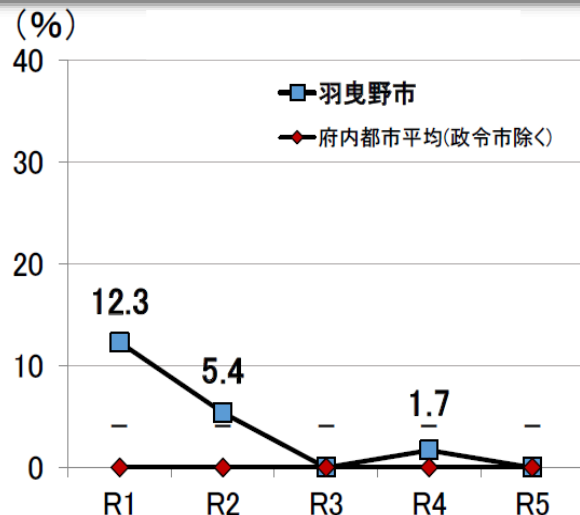
これは、一般会計債の元利償還金の増加によるもので、依然として府内都市平均よりも高い水準となっているため、今後もこの間の財政健全化計画に基づき新たな借入を抑制しつつ、自主財源の確保に努め、臨時財政対策債といった赤字地方債に過度に依存しない財政体質を目指していく必要があります。

実質公債費比率とは（※低い方が良い）

地方公共団体の借金返済額の負担の大きさを表はかる指標です。

年間の収入の規模に占める年間の借金返済額の割合を表します。この比率が18%を超えると新たに借金をするのに大阪府の許可が必要となります。

将来負担比率の推移



※将来負担額を充当可能財源等が上回っている年度は「-」で示しています。

令和5年度の将来負担比率は、将来負担額を充当可能財源等が上回ったため算定されませんでした。

これは、基準財政需要額算入見込額が減少したものの、地方債現在高が減少したことなどによるもので、将来に過度の負担を残さないように、身の丈に合った財政運営に努める必要があります。

将来負担比率とは (※低い方が良い)

地方公共団体が将来支払うべきお金の大きさをはかる指標です。

年間の収入の規模に対する一般会計の借金残高や下水道事業等への借金返済のための補助金の将来見込み額など、市役所が将来に支払わなければならないお金の割合を表します。この比率が350%を超えると国や大阪府の管理の下、「財政健全化計画」を作成し、市民サービスを抑えるなどをして財政の健全化を図ることになります。



借金の返済については、これまでの取組みの成果が現れているね。

羽曳野市の財政状況について

- ・平成18年度以来17年連続黒字を確保しているが、令和5年度は財政調整基金（貯金）の取り崩しをしなければ赤字に陥る可能性もあったことから、楽観できる状況ではない。
- ・経常収支比率は前年度よりも悪化しており、今後は特に公共施設等の整備に伴う公債費の増加が見込まれるため、財政の硬直化について注視が必要である。
- ・人口減少等による市税収入の減少が見込まれる一方で、市役所本庁舎や給食センターの建替をはじめとした公共施設等の更新に多額の費用を要することから、公共施設等の集約化・長寿命化を行うとともに、事業の見直し、自主財源の確保などを集中的に行う必要がある。



このほかにも、羽曳野市の資産や負債といったストックに関する情報などについては、「地方公会計制度に基づく財務書類」で分析しているよ。

【地方公会計制度に基づく財務書類については、こちらのページをご覧ください。】

次のページでは、羽曳野市のこれからの財政収支の見通しを見てみよう。

羽曳野市の今後の財政収支見通し

羽曳野市／普通会計 中期財政収支見通し

(単位：百万円)

	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0
市税	12,833	13,571	13,584	13,449	13,463
地方交付税（普通・特別）	9,456	9,142	9,087	9,068	9,058
その他	20,183	23,937	22,660	22,506	19,917
歳入合計（A）	42,472	46,650	45,331	45,023	42,438
人件費	7,228	7,019	7,463	7,216	7,553
扶助費	14,358	15,001	15,046	15,091	15,136
公債費	3,279	3,292	3,385	3,315	3,492
普通建設事業費	1,840	6,212	4,526	4,495	1,537
その他	15,855	15,808	16,368	17,160	17,797
歳出合計（B）	42,560	47,332	46,788	47,277	45,515
収支（A）－（B）	▲ 88	▲ 682	▲ 1,457	▲ 2,254	▲ 3,077

※令和6年度以降は収支不足にかかる財政調整基金（貯金）の取り崩しを見込んでいません。



財政調整基金を取り崩さないと、赤字はどんどん膨らんでいく見通しだね。原因は、

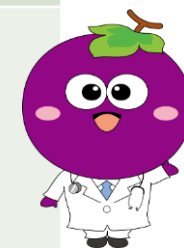
- ① 人口が減ることによって市税が減る
- ② 高齢化などによって扶助費は増加する
- ③ 老朽化した公共施設等の更新にもお金がかかるなどが考えられるよ。



もう一步踏み込んで、一般会計以外の会計の状況も見てみよう！！

(単位：億円)

会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
国民健康保険 特別会計	R5	126.6	13.1	126.3	0.3	◇収入は前年比0.5億円の減少。被保険者の減少に伴う保険料の減少、府支出金（普通交付金）や前年度からの繰越金の減少が主な要因。
	R4	127.1	12.5	126.1	1.0	◇支出は前年比0.2億円の増加。被保険者が減少しているものの一人当たりの医療費が増加している影響で保険給付費が高止まりしている中、事業費納付金が大幅に増加したことが主な要因。
	差引	▲0.5	+0.6	+0.2	▲0.7	◇収支は、基金を0.8億円取り崩したうえで、0.3億円の黒字で前年比0.7億円の減少となっている。
介護保険 特別会計	R5	116.9	18.6	116.6	0.3	◇収入は前年比5.9億円の増加。保険給付費が増加したことに伴う国・府負担金の増加等によるもの。
	R4	111.0	17.3	109.3	1.7	◇支出は前年度比7.3億円の増加。保険給付費・地域支援事業費の増加が主な要因。
	差引	+5.9	+1.3	+7.3	▲1.4	◇収支は0.3億円の黒字で前年比1.4億円の減少となっている。
後期高齢者医療 特別会計	R5	21.7	5.2	21.0	0.7	◇収入は前年比0.6億円の増加。被保険者数の増加により後期高齢者医療保険料が増加したことが主な要因。
	R4	21.1	4.2	20.4	0.7	◇支出は前年比0.6億円の増加。被保険者数の増加に伴い後期高齢者医療保険料の収入が増えたことなどにより後期高齢者医療広域連合納付金が増加したことが主な要因。
	差引	+0.6	+1.0	+0.6	—	◇収支は前年と同様0.7億円の黒字となっている。
と畜場 特別会計	R5	1.3	0.8	1.3	—	◇収入は前年比0.1億円の増加。市債が減少したが、総務費や公債費の増加による繰入金が増加したことが主な要因。
	R4	1.2	0.7	1.2	—	◇支出は前年比0.1億円の増加。改修事業基本設計及び実施設計業務委託料が減少したが、維持補修費、機械器具購入費及び公債費が増加したことが主な要因。
	差引	0.1	0.1	0.1	—	◇収支は0億円で前年比も0億円となっている。



(単位：億円)



会計	年度	収入 (収益)	うち 一般会計 繰入金	支出 (費用)	収支	説明
水道事業会計	R5	21.9	1.0	19.0	2.9	◇収益は前年比1.1億円の減少。令和5年12月から4か月間、物価高騰対策として水道料金の基本料金を減免したことが主な要因。 ◇費用は前年比0.3億円の減少。退職手当に係る一般会計への負担金が減少したことが主な要因。 ◇収支の状況等から経営の健全性を分析してみると、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す経常収支比率は100%を超え、流動資産から流動負債を控除した運転資金は企業債残高を上回っていることから、健全性は確保されていると言える。
	R4	23.0	0.0	19.3	3.7	
	差引	▲1.1	+1.0	▲0.3	▲0.8	
下水道事業会計	R5	31.6	8.2	28.9	2.7	◇収益は前年比1.1億円の減少。使用料収入が2.3億円増加した一方で、長期前受金戻入が1.7億円減少、他会計補助金が1.8億円減少したことが主な要因。 ◇費用は前年比0.2億円の増加。支払利息及び企業債取扱諸費が減少したものの、流域下水道維持管理負担金の増加したことなどが主な要因。 ◇令和5年4月1日に下水道使用料を改定したことにより、使用料収入が増加し、一般会計繰入金を削減することができ、経営状況の改善に一定の成果を得た。しかしながら、今後、人口減少による使用料収入の減少や管路や施設の老朽化による更新・維持費用の増加が見込まれ、経営環境は厳しい状況が続くと予想される。そのため、将来に渡って下水道サービスを持続的・安定的に提供できるよう引き続き経営基盤の強化が求められる。
	R4	32.7	9.8	28.7	4.0	
	差引	▲1.1	▲0.4	+0.2	▲1.3	





最後まで読んでいただきありがとうございました。
つぶたんと一緒に見てきましたが、少しでも羽曳野市の財政状況を考えていただけるきっかけになれば幸いです。
また、財政に関することで、お気づきの点や何か良いアイデアがあれば教えてください。
これからも、羽曳野市の行財政運営にご理解とご協力をお願いします。

■ なお、令和5年度決算のより詳細な情報は[こちら](#)のページをご覧ください。



世界遺産と日本遺産のあるまち
HABIKINO CITY



羽曳野市の財政状況

〈令和5年度決算〉【第1版】

羽曳野市総務部財政課

Tel : 072-947-3807

Mail : zaisei@city.habikino.lg.jp